

平成21年11月号

天草家保通信

熊本県天草家畜保健衛生所 〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
電話番号 0969-22-3668 ファックス番号 0969-24-4393
ホームページアドレス <http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/index.htm>
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

平成21年度 熊本県畜産関係業績発表会が 開催されました。

11月27日（金）、合志市にある熊本県農業研究センターにて、平成21年度熊本県畜産関係業績発表会が開催され、県内の5ヶ所の家保（城北、阿蘇、中央、城南、天草）から13題が発表されました。



大勢の関係者を目前に発表する東参事。発表終了後多くの質問が上がりました。

天草家保からは、2題発表し、1題は、関係者の方々に多大なご協力を頂いている「市場上場肉用子牛のワクチンプログラム変更への取り組み」についてを東参事が、もう1題は、今年度、天草家保管内の鶏を飼育している教育現場の全てで年2回のニューカッスル病ワクチン投与が達成されたという「教育現場（愛玩鶏飼養）における地元獣医師と取り組んだ防疫対応」についてを安田技師が発表しました。今回は、東参事の発表抄録を紹介します。

! ?

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

市場上場肉用子牛のワクチンプログラム変更への取り組み

天草家畜保健衛生所 東 幹彦 野尻建二 高橋繁一郎 ほか
中央家畜保健衛生所 永江多樹子

天草地域は県内でも有数な黒毛和種の生産地帯であり、約500戸の農家が4,400頭の繁殖雌牛を飼養し、年間3,200頭の子牛が生産され、その子牛の多くは天草家畜市場(年6回開催)において、県内外に購買されています。上場子牛へのワクチン接種は、約8ヵ月齢(上場1ヵ月前)に牛5種混合、イバラキ病、牛ヒストフィルス・ソムニ感染症の3種類ワクチンを家畜自衛防疫促進協議会が地元獣医師、市町、関係団体の協力を得て行ってきました。

しかし、上場までには呼吸器系の疾病発生率が約40%を占め、その発生予防が大きな課題でした。そこで、今年4月から生産者段階での損耗防止を目的に、ワクチン接種時期の早期化を検討し、適当な接種月齢を把握するために対象疾病の抗体検査を行い、併行して関係者との協議や説明会を重ね、10月から牛5種混合とイバラキ病ワクチンを4~5ヵ月齢接種に変更できましたのでその概要を報告します。

1 適当な接種月齢把握のための抗体検査

1) 対象牛の選定：管内を6地区に分け、3ヵ月齢子牛、4~5ヵ月齢子牛、上場1ヵ月前子牛(8~9ヵ月齢)の病歴がない健康な子牛と母牛合計107頭について検査を実施しました。

2) 検査対象疾病：5種混合(IBR、BVD-MD、RS、PI-3、AD7)、イバラキ病の6疾病。

3) 結果：子牛では、IBR以外の疾病はワクチン接種してもワクチンの効果が充分発揮できないことが示唆され、子牛ではAD7以外の疾病は抗体価(GM価)が低下し、AD7とBVD-MD以外の疾病はワクチン効果が期待できる状況であり、4~5ヵ月齢接種が適当と考えられました。子牛ではAD7を除き抗体価(GM価)が2倍未満であり、感染発症が危惧される状況でした。なお、AD7は全ステージにおいて、ワクチン効果が発揮できない状況が示唆されました。

2 関係者との協議と意識統一

変更への取組みは、市場開設者である畜産農業協同組合長(兼協議会長)との協議に始まり、獣医師会への打診、各獣医師との打合せ、市町・団体担当者への説明会等をおし、理解と支援を求め、また問題点を抽出しました。特に、変更に対する人的対応の可否や不明確な対象戸数頭数への不安、料金徴収の方法等の課題に対して、子牛の誕生月別の予定頭数シミュレーションや料金徴収体制を提示したことで、関係者の不安が払拭され意識統一が図られました。

3 生産者及び購買者への説明と周知

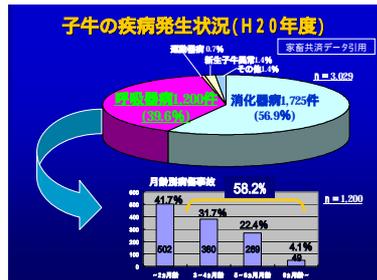
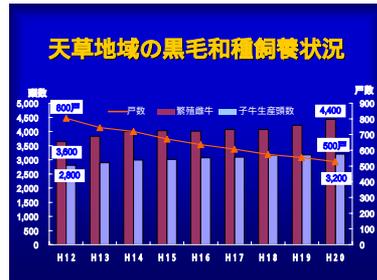
14地区の和牛部会総会等において説明及び意見交換を行いました。また変更決定後は、家保巡回時やワクチン接種に同行し、作成したパンフレットで生産者への周知を図りました。さらに、市場開催日にミニ講習会を行い、生産者のみでなく購買者に対しても目的を含めた周知を行いました。

4 成果

各種疾病の抗体検査成績から、ワクチン(5種混合、イバラキ病)の接種時期は4~5ヵ月齢が適当と考えられました。また、関係者や生産者との現実的な協議を重ね、問題点を解決することで理解が得られ、10月からプログラムを変更し、来年3月上場子牛以降は、すべて新プログラム接種子牛となります。

5 考察

長年継続してきたワクチンプログラムに対し、関係者の理解と協力が得られ、短期間(約半年)で変更でき、子牛の損耗防止の一助となるものと期待しています。今後も関係者一丸となって、「天草黒牛」の発展に寄与していきたいと思えます。



! ? 家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668